

発表プログラム 9月10日（月） 午前

開始時刻	中央教育棟4階 AW404教室	中央教育棟4階 AW403教室
	座長 西川 哲也	座長 石田 惣
9:00	PO01 小田 達也 種々の赤潮プランクトンの活性酸素産生に関する比較研究	BO01 大久保 奈弥 マイクロプラスチックはサンゴと褐虫藻の共生関係を阻害する
9:15	PO02 足立 真佐雄 本邦産底生性渦鞭毛藻 <i>Prorocentrum</i> 属の発存量ならびに <i>P. lima</i> complex および <i>P. caipirignum</i> の分子系統、分布と下痢性貝毒産生能	BO02 夏目 拓希 噴火湾における養殖ホタテガイとヨーロッパザラボヤの食性解析
9:30	PO03 山口 峰生 湖山池に出現する繊毛虫 <i>Mesodinium</i> の多様な色素体とクリプト藻の関係	BO03 松岡 佳子 砂質干潟においてアサリ (<i>Ruditapes philippinarum</i>) の高密度パッチの形成を妨げている要因～捕食防止柵を用いた実験からのアプローチ～
9:45	PO04 山本 圭吾 大阪湾で低水温期に観察された有毒渦鞭毛藻 <i>Alexandrium tamarense</i> の大規模増殖	BO04 伊藤 篤 広島県東部のアサリ漁場における保護網の敷設
	座長 片野 俊也	
10:00	PO05 中山 奈津子 加茂湖における <i>Heterocapsa circularisquama</i> 感染性ウイルス HcRNAV の感染型の遷移	BO05 鈴木 孝男 干潟のレッドリスト種は大津波後にはどうなったのか？
10:15	PO06 小原 静夏 海底耕耘による珪藻類の増加効果について～広島湾北部の事例をもとに～	BO06 田中 正敦 東北地方太平洋沿岸からのドチクチュムシ記録と「吻」の発見
10:30	PO07 市村 瞭 陸奥湾における貧栄養化対策としての海底耕耘の有効性	(休憩)
	座長 中山 奈津子	座長 伊谷 行
10:45	PO08 籠橋 重樹 陸奥湾での貧栄養化が植物プランクトンの生産に与える影響について	BO07 石山 玄樹 深海性巻貝チヂフバイ類の水平・垂直分布と多様化プロセス
11:00	PO09 日野出 賢二郎 付着珪藻群集の遷移	BO08 山崎 大志 顕著な表現型分化を示す東アジア産バテイラ属貝類の進化史：形態的・遺伝的・生態的解析による検証
11:15	PO10 西川 哲也 2009～2016年の日本海但馬沖における植物プランクトン群集の季節変動	BO09 大城 匡平 貝殻を背負って生きるホシムシ類の貝殻利用様式
11:30	PO11 山崎 大輔 東京湾における珪藻を宿主とする寄生性微小鞭毛虫の単離及び感染率の季節変動	BO10 吉川 晟弘 ヒラフネガイのヤドカリ貝殻内部への共生様式
11:45	PO12 平石 萌夏 東京湾における微細鞭毛藻類の組成	BO11 山守 瑠奈 らせんがほどける時：ニシキウスガイ科における貝殻笠型化の進化とその要因
12:00 – 13:00 : 昼食・休憩		

発表プログラム 9月10日(月) 午後

13:00-14:00 ポスター発表コアタイム (奇数番号)

開始時刻	中央教育棟4階 AW404教室	中央教育棟4階 AW403教室
	座長 岸 正敏	
14:30	PO13 上野 陽 東京湾における植物プランクトンの長期変動	日本ベントス学会奨励賞受賞記念講演 後藤 龍太郎 干潟で見られる共生関係の多様性と進化
14:45	PO14 吉中 祐紀 東京湾における珪藻 <i>Skeletonema</i> 属のPCR法による出現種解析	
15:00	PO15 古岡 鳳夏 東京湾の底泥中における珪藻 <i>Skeletonema</i> 属のqPCRによる定量解析	
15:15	PO16 角田 成美 海産微小珪藻 <i>Chaetoceros tenuissimus</i> の休眠移行プロセス	
	座長 奥 修	
15:30	PO17 関根 睦実 微細藻類-細菌共存系を用いた屋外廃水処理における大型動物プランクトン除去の影響	
15:45	PO18 中嶋 亮太 アマゾン川とネグロ川における動物プランクトンの個体数と生物量:異なる河川合流境の生態学的重要性	日本ベントス学会奨励賞受賞記念講演 山名 裕介 ナマコの水産研究と博物館 -ベントス学による社会貢献の例として-
16:00	PO19 伴 修平 現代版「里湖循環型社会」の構築:水草からクロレラを作る	
	座長 高橋 和也	
16:15	PO20 戸田 龍樹 SATREPS-COSMOSにおける植物プランクトン培養リアクターの研究開発	
16:30	PO21 山口 晴生 海産微細藻の強制懸濁培養に関する研究	日本ベントス学会2018年度総会
16:45	PO22 岸 正敏 植物プランクトン培養における気体透過膜を用いた新たな溶存酸素除去技術	
18:30-20:30 : 懇親会(京王プラザホテル) ※18:00開場		

発表プログラム 9月11日 (火) 午前

開始時刻	中央教育棟4階 AW404教室	中央教育棟4階 AW403教室
	座長 山口 晴生	座長 木村 妙子
9:00	PO23 高橋 和也 ハプト藻由来の葉緑体をもつ無殻渦鞭毛藻 <i>Kapelodinium</i> sp.の微細構造と系統	BO12 堀 正和 環境省モニタリングサイト1000による日本南限アマモ場の分布変遷の調査結果
9:15	PO24 山田 和正 親潮域における真核ピコ藻類パルマ藻群集の種組成と増殖速度の季節変動	BO13 瀬尾 絵理子 非侵襲的赤外線法による二枚貝類の心拍動測定
9:30	PO25 辻 彰洋 固有種は世界汎布種の起源か? – スズキケイソウの起源 –	BO14 立石 朋 菊池川感潮域に棲息するヤマトシジミ (<i>Corbicula japonica</i>) の個体群動態を制御している要因
9:45	PO26 矢野 諒子 珪藻類におけるNutrient-induced fluorescence transients (NIFTs) 反応の解析	BO15 堀田 拓 基質・高地盤によるアサリの生残・成長等への短期的な影響
	座長 日野出 賢二郎	
10:00	PO27 宮嶋 優里 伊勢湾奥部海底堆積物中における渦鞭毛藻シストと <i>Chaetoceros</i> 属休眠胞子の鉛直分布	BO16 北川 昇 台風の波浪がもたらす砂質干潟の底質環境の攪乱と底生生物の群集組成への影響
10:15	PO28 赤穂 那海 底生珪藻類および珪藻類休眠期細胞の貧酸素耐性	BO17 徳丸 直輝 大牟田川河口干潟 (有明海) における底生動物の18年間の分布変化 – 特にアリアケカワゴカイ (環形動物門ゴカイ科) の激減について –
10:30	PO29 石川 輝 伊勢湾および三河湾の海底泥表層における <i>Skeletonema</i> 属休眠細胞の現存量と種組成	(休憩)
	座長 西川 淳	座長 山本 智子
10:45	PO30 森 彩香 ミズクラゲ (<i>Aurelia coerulea</i>) ポリプのストロビレーションに餌密度が及ぼす影響	BO18 山野 紗希 有明海奥部および諫早湾干拓調整池における貝形虫の個体数密度
11:00	PO31 吉川 美月 ミズクラゲ <i>Aurelia coerulea</i> の直達発生型プラヌラにおけるストロビレーション因子の発現	BO19 井上 幸男 回流水槽実験からみた藻場の流速と光合成速度の関係
11:15	PO32 戸篠 祥 最近の分類再編に伴う箱虫綱の新しい検索表	BO20 大竹 正弘 冬季から春季における褐藻ノコギリモクのアンモニアおよび硝酸の吸収・要求速度の変動
	座長 鈴木 健太郎	
11:30	PO33 前角地 穂衣 定量ビデオカメラによる北部ベリング海における大型クラゲ類の水平および鉛直分布評価: 一般化加法モデルによる解析	BO21 伊藤 浩吉 浅海生態系の調査研究におけるスキューバ潜水技術の利用 – その課題と展望 –
11:45	PO34 飯田 健 鉢クラゲ類の変態期における組織学的研究	BO22 伊藤 美澄 間隙性貝形虫 <i>Anchistrocheles</i> 属の種分類と背甲形態の間隙環境への適応に関する考察
12:00	PO35 池田 英樹 生体機能物質と呼吸速度から見たミズクラゲエフィラの飢餓応答	(休憩)
12:15 – 13:00 : 昼食・休憩		

発表プログラム 9月11日 (火) 午後

13:00-14:00 ポスター発表コアタイム (偶数番号)

開始時刻	中央教育棟4階 AW404教室	中央教育棟4階 AW403教室
	座長 西部 裕一郎	座長 松政 正俊
14:30	PO36 網島 歩美 東京湾における浮遊性カイアシ類 <i>Acartia omorii</i> の卵生産速度と季節変化	B023 嶋永 元裕 伊豆諸島海域の近接する海底火山カルデラ内熱水噴出域における底生カイアシ類群集の空間変異と熱水固有カイアシ類レンゴクダクチミジンコの栄養生態
14:45	PO37 平原 南萌 相模湾真鶴港に優占する内湾性かいあし類 <i>Acartia steueri</i> のエネルギー蓄積特性	B024 青木 優和 マスト形成ヨコエビ <i>Dulichia biarticulata</i> についての生態学的検討
15:00	PO38 米田 壮汰 粒子食性カラヌス目カイアシ類の摂餌様式と食性の分類群間比較	B025 石村 理知 干潟の稀少巻貝コゲツノブエ (オニツノガイ科) の産卵行動
	座長 宮本 洋臣	
15:15	PO39 佐藤 陽香 駿河湾における浮遊性貝形類の鉛直分布	B026 高田 宜武 干潟マクロベントスの多様性の空間階層的分解
15:30	PO40 大竹 裕里恵 過去350年間の枝角類群集動態と環境変動の影響: 年縞堆積物と生物遺骸による解明	B027 宮本 康 再生ハビタットにおけるベントス群集の比較: 現代法と伝統法による再生なぎさの比較
15:45	PO41 平野 勝士 デトリタス食性カイアシ類と海洋細菌との栄養学的関係	座長 大越 和加
	座長 下出 信次	B028 橋詰 和慶 江戸川河口干潟におけるホンビノスガイ (<i>Mercenaria mercenaria</i>) の個体識別による成長様式
16:00	PO42 神先 慶作 相模湾におけるアンドンクラゲの成熟と成長	B029 富山 毅 サキグロタマツメタの行動パターンとアサリへの影響
16:15	PO43 日高 清隆 メタ18S解析による黒潮周辺海域表層の尾虫類の食性分析	B030 佃 政則 有明海佐賀県海域におけるアゲマキ (<i>Sinonovacula constricta</i>) 資源量の評価
16:30	PO44 仲村 康秀 霞ヶ浦に生息するイサザアミの食性解明、顕微鏡観察、安定同位体分析および環境DNA分析を組み合わせた複合的解析	B031 野間 昌平 有明海佐賀県沿岸におけるアゲマキ種苗放流後の生残と塩分関係について
16:45	PO45 一宮 睦雄 鹿児島湾周辺海域におけるコロニー形成性珪藻 <i>Thalassiosira dipolocyclus</i> の現存量および動物プランクトンの餌生物としての重要性	B032 栗原 健夫 有明海におけるタイラギの移植適水域
17:00-18:00 : 閉会式・学生優秀発表賞表彰式		

ポスター発表プログラム (プランクトン学会)

掲示期間：9月10日(月) 10:00-9月11日(火) 15:45

奇数番号 コアタイム：9月10日 13:00-14:00		偶数番号 コアタイム：9月11日 13:00-14:00	
PP01	湯浅 光貴 有害赤潮藻類 <i>Chattonella antiqua</i> の活性酸素発生に及ぼす光と栄養欠乏の影響	PP02	Wai Mun Lum Morphology and phylogeny of marine harmful raphidophyte <i>Chattonella subsalsa</i> from Manila Bay and Bolinao, Philippines
PP03	中島 吉洋 有害赤潮渦鞭毛藻 <i>Karenia mikimotoi</i> はなぜ中層定位するのか? : 光合成反応から推察	PP04	片野 俊也 東京湾における1930年代の赤潮原因種の再検討
PP05	鈴木 健太郎 舞鶴湾におけるミズクラゲの生活史二型の発現と水温の関係	PP06	高津戸 啓介 クレードF褐虫藻の環境耐性と刺胞動物への感染性について
PP07	小川 華乃子 ミズクラゲのポリプの分裂に対する近隣他個体影響：血縁度注目して	PP08	野宮 岳人 北部薩南海域における海洋環境と微小プランクトン生物量の季節変動
PP09	奥 修 水浸対物レンズによる珪藻類生細胞の高解像イメージング	PP10	片山 智代 マレーシア養殖池から得られたアンモニア耐性を有する高脂質含有微細藻類の探索
PP11	尾内 秀美 メタン発酵消化液およびバイオガス由来のCO ₂ ガスを用いた微細藻類生産	PP12	宮本 洋臣 北太平洋移行域およびその周辺海域における夏季のクロロフィルaの水平分布
PP13	中野 温美 <i>Skeletonema</i> 属休眠期細胞の荒川感潮域への輸送・堆積	PP14	紙崎 星美 長崎県小値賀町六島でみられた付着珪藻類
PP15	後藤 緑 マレーシア沿岸から単離された強アンモニア耐性を有する海産緑藻 <i>Chlorella vulgaris</i>	PP16	Liu Xin Effects of different algal diets and carbon supplies on larval development, growth and survival in the freshwater copepod <i>Mongolodiptomus malaindosinensis</i> (Copepoda: Calanoida)
PP17	高山 佳樹 海産浮遊性カイアシ類の新規培養装置の開発	PP18	菊池 利典 かいあし類 <i>Acartia steueri</i> の卵生産に及ぼす脂質組成の影響
PP19	小林 真輝 カイアシ類1個体からのDNA抽出方法の検討	PP20	吉永 侑司 相模湾における浮遊性カイアシ類 <i>Calanus sinicus</i> の産卵の日周期性
PP21	土屋 健司 枝角類動物プランクトン2種のバクテリア生産量への影響	PP22	角石 由美 親潮域におけるかいあし類 <i>Neocalanus cristatus</i> の孵化成功率と卵脂質量の変動
PP23	大濱 侑作 アルテミア耐久卵の孵化率におけるイオン液体の影響	PP24	小磯 桃子 ベーリング海南東海域より採集したハダカカメガイ類の分類学的検討

ポスター発表プログラム (ベントス学会)

掲示期間：9月10日（月）10：00－9月11日（火）15：45

奇数番号 コアタイム：9月10日 13:00－14:00		偶数番号 コアタイム：9月11日 13:00－14:00	
BP01	木戸 結菜 オスがメスにガツンと…！：ヨモギホンヤドカリの性的対立	BP02	和田 哲 エゾボラの繁殖生態：どんな個体がどこにどれくらい産卵するのか？
BP03	後藤 理 共生性マキガイイソギンチャクの宿主選択過程	BP04	山川 彩子 泡瀬干潟の転石帯におけるカンギク <i>Lunella coronata</i> (Gmelin, 1791) の成長と殻型変化
BP05	日馬 優太 固着性巻貝オオヘビガイの劇的な貝殻成長	BP06	阿部 博和 イワムシ（環形動物門：イソメ科）に潜む隠蔽種
BP07	本野 由惟 眼がない貝食性のツメタガイは嗅覚で餌を見つけ出すのか？	BP08	三宅 裕志 熱水性短尾類ホウキガニ類 <i>Xenograpsus</i> sp.の式根島での初記録
BP09	藤島 花奈子 宮城県万石浦人工干潟の潮間帯と潮下帯におけるアサリの成長の違いは夏期にあり？	BP10	柏尾 翔 大阪湾周辺海域の干潟環境におけるウミウシ類の多様性とその保全について
BP11	和田 菜花 日本沿岸における底生性クシクラゲ <i>Vallicula multiformis</i> の記録	BP12	安岡 法子 春季の大阪湾における底生動物の分布：特にカニ類に着目して
BP13	後藤 広樹 地盤沈下と隆起が万石浦の潮間帯の生物分布にもたらす影響	BP14	伊藤 健二 貯水池における特定外来生物カワヒバリガイの環境DNAを用いた分布調査
BP15	頼末 武史 北海道東部における外来フジツボの加入に対する肉食性巻貝と藻食性カサガイの効果	BP16	高崎 海 オクダウミイサゴムシ（ウミイサゴムシ科）の日本沿岸における新産地報告とその生息環境
BP17	中本 健太 藻場構成植物の系統的な多様性と葉上無脊椎動物の種多様性の関係	BP18	大崎 幸一 流速による海藻の形状変化および光合成速度への影響
BP19	折田 亮 サルボウガイの赤血球の特徴および貧酸素水暴露による赤血球濃度の変化	BP20	萩野 哲也 イトゴカイ (<i>Capitella teleta</i>) 貧酸素応答遺伝子群の網羅的探索
BP21	山田 勝雅 貧酸素水塊の移入に対するベントス群集の応答：群集形成パターン評価	BP22	眞田 智由 深海底生生物群集におけるマイクロプラスチック汚染
BP23	大西 雄二 鯨骨生物群集遷移初期の堆積物中における化学合成一次生産物の周辺生物への寄与	BP24	川瀬 誉博 北限のマングローブ生態系における底生動物の食物網構造
BP25	宇田川 徹 鹿島灘砂浜汀線域における底砂中の有機物量と微細藻類量	BP26	清水 ミチル 陸水域食物網におけるトップダウン効果による植物プランクトン量の調節
BP27	齊藤 肇 ペナン島（マレーシア）南岸の泥干潟におけるマクロベントス群集の岸沖パターン	BP28	片桐 耕 東北地方太平洋沖地震前後における女川湾湾奥のマクロベントス群集構造の変化
BP29	中田 和義 外来種アメリカザリガニの捕獲駆除におけるペットボトル製トラップの有効性	BP30	むつ市立川内小学校5年生 青森県むつ市川内町人工海浜に生息するウミニナの繁殖と個体群動態